

科目名	観光研究	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
英文表記			Tourism Practice	国際学科
ふりがな	きむら きよし みうら かおる いのうえひろし	実務家教員担当科目	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
担当者名	木村 澄 三浦 薫 井上 寛	実施方法	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
授業のテーマ	国際通用力のある社会人を目指すための基本を身につける			
到達目標	観光に関するさまざまな現象、法規、制度を概説できるようにし、観光の諸問題を読み解く力を身につけることを目標とします。また、観光英語に関しては、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能が身につくことを目標とします。			
授業概要	国際学科の学生が1年次に必修科目として学んだ、「観光論」、「観光法規」、「観光英語」3分野の内容を、各分野ともしっかりと復習し、体系的かつ有機的に学びます。そして、3年次の後期に実施される卒業試験合格を目指し、しっかりと学びましょう。			

授業計画			
第1回	<観光論1> 観光の意義と効果	第17回	<観光論6> 新しい観光形態(ニューツーリズム)
第2回	<観光法規1> 自然公園法	第18回	<観光法規6> 旅館業法、住宅宿泊事業法
第3回	<観光英語1> Tour Information	第19回	<観光英語6> Airline Check-in
第4回	<観光論2> 観光資源と世界遺産	第20回	<観光論7> 観光ビジネスの特性(旅行・宿泊・運輸業)
第5回	<観光法規2> 環境基本法、生物多様性基本法	第21回	<観光法規7> 旅行業法
第6回	<観光英語2> Tour Booking	第22回	<観光英語7> Airline Procedure
第7回	<観光論3> コロナ禍における国際観光の現状	第23回	<観光論8> 地方創生と観光まちづくり
第8回	<観光法規3> エコツーリズム推進法	第24回	<観光法規8> 観光立国推進基本法、IR 実施法
第9回	<観光英語3> Tour Escort	第25回	<観光英語8> Airline inflight information
第10回	<観光論4> 観光立国とその状況	第26回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 1
第11回	<観光法規4> 文化財保護法、世界遺産条約	第27回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 2
第12回	<観光英語4> Tour Guide	第28回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 3
第13回	<観光論5> 持続可能な観光とSDGs	第29回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 4
第14回	<観光法規5> 景観法、歴史まちづくり法、観光まちづくり条例	第30回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 5
第15回	<観光英語5> Airline Booking	第31回	総合演習(観光論・観光法規・観光英語) 6
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験

授業時間外の学習	<p><予習> 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、テキスト、参考文献やWEBサイトなどを活用し予習をしてください。(90分程度)</p> <p><復習> 毎時、前回の復習テストを実施します。ノートや配布資料を確認し、参考文献やWEBサイトなどを活用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p><その他> 授業時間外にも学習支援や特訓を実施しますので積極的に参加してください。</p>
履修条件 受講のルール	1年次の必修科目「観光論入門」「観光法規」「観光英語」が履修済みであることを前提に、授業を進めます。また、これらの授業で使用したテキストやノートも活用してしっかりと復習してください。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	観光論入門、観光法規、観光英語の授業で配布されたテキスト・ノート・資料。
成績評価の方法	<p>下記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <p>①定期試験(85%) ②学習姿勢(15%)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・木村 (火曜日 13時00分～14時30分および木曜日 13時00分～14時30分) ・三浦 (火曜日 14時40分から 16時10分木曜日 9時00分から 10時30分) ・井上 (月曜日 9時00分～10時30分及び金曜日 13時00分～14時30分) <p>※これ以外の時間は事前に予約してください。</p>
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	1年次に必修科目として学んだ、「観光論」、「観光法規」、「観光英語」3分野の内容を理解し自分ものにするには、卒業後にも役に立つ知識や技能です。これらの内容について、復習を含めて体系的にしっかりと学ぶことにより、卒業試験の学習にも役に立ちます。